

農 × 福 連 携

って知っていますか？

農福連携とは…

農福連携とは、農業と福祉が協力することで、それぞれの分野が抱える課題を解決し、地域共生社会の実現につなげる取組です。

農業分野での課題



人手不足…

福祉分野での課題



働く場（就労機会）
が不足…

農業と福祉の連携により…



生きがいづくりに
もつながります！

人手不足の解消へ
就労機会の創出へ

弘前市では「農福連携モデル事業」を実施しました！

りんご生産工程の中で、障がいを持った方が就労可能な作業の掘り起こしを行うため、障がい福祉事業所の利用者がりんごの栽培から出荷に至る一連の作業に従事しました！

作業のようす



りんごの実すぐり



シルバーシート片付け



りんごの袋かけ



りんごの収穫

農福連携に取り組む農業者の声



弘前市独狐 Farmなる実

栽培規模 りんご 310アール
農福連携取組歴 2年目

今年度は、りんごの摘果と反射シートの片付け作業で農福連携に取り組みました。

作業を明確化し、やり方を丁寧に説明することで、効率良く作業に取り組むことができ、特に**人手の多さが大いに役立ちました**。簡単な作業から徐々に慣れてもらい、将来的には、葉摘みや収穫などの作業を手伝ってもらいたいと考えています。

また、「**ノウフクJAS**」の認証に向けて取り組んでおり、栽培したりんごに付加価値をつけ、事業所の**利用者の工賃向上**につなげたいと考えています。



弘前市相馬 株式会社シャンテイ

栽培規模 りんご 800アール
農福連携取組歴 2年目

昨年の6月から農福連携に取り組んでいます。事業所の方々は、毎回6~7名で作業を行ってくれるので、**作業の進捗が早く**、目に見えて進んでいることが実感できます。

また、**障がい福祉事業所の方々のおかげ**で、今年も予定通りに収穫を終えることができ、**非常に助かりました**。

このほか、木の高いところは当社の従業員がカバーするなどし、**安全面に配慮**するとともに、**作業の分担を図**っています。

農福連携に取り組む障がい福祉事業所の声



就労継続支援B型事業所 チョコわっとく

利用者数 11名
農福連携取組歴 1年目

今年度は、りんごの摘果や袋かけ、収穫など様々な作業に従事しましたが、継続して従事するにつれ、日に日に**利用者の技術も向上**しています。

利用者からは「**農家さんから直接お礼**をされるのが**モチベーション**につながっており、**今後も作業したい**」との声や「**作業が楽しい**」との声が挙がっています。

今後も農福連携に取り組むとともに、課題である指先を使う作業を克服するため、**施設内で練習**し、**来年の作業に望みたい**です。



就労継続支援A型事業所 株式会社さくらの杜

利用者数 65名
農福連携取組歴 6年目

5年前から農福連携に取り組み始め、現在では、**年間を通じてりんご作業に従事**しています。

りんご作業は、最初は難しい作業もありますが、1度スキルを身につけてしまえば、あとは他の農家さんの下でも就労できるため、**利用者の自信の創出**につながっています。

また、利用者は、**畑での作業に積極的**な方が多く、非常に**やりがい**を感じているほか、**社会との関わりを実感**しており、**コミュニケーション能力の向上**にもつながっています。

当市における今後の農福連携の展望

現状

○令和元年度~2年度

- 農福連携の**取組を開始!** (落葉収集作業)
- 障がいを持つ方も就労可能である作業として**一定の成果を確認**。

○令和3年度

- 農福連携の**取組内容を拡大!** (りんご作業全般へ) 作業内容や適正の有無を検証。
- 令和3年12月中に農業者からの報告書を取りまとめ予定。
- 令和4年2月頃に**セミナーを開催**し、障がいを持った方が就労可能な作業や、工夫が必要な点など、**検証結果を発表**予定。

今後の展望

農福連携に初めて取り組むには、**様々な課題が...**

○農業側

- 初めて依頼するには、**抵抗感があり、踏み出しにくい**。

○福祉側

- 年間の中で**いつ、どの農作業の依頼があるのか不明**。

- これらの課題の解消に向け、
 - 新規に取り組む農業者への後押し**
 - 農福連携カレンダーや希望者リストの作成**により、更なる農業の労働力不足の解消と障がい者の就労機会の拡大へ!